

7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6

檀之本北元評月並運坐句合

年之月並集出来 價百廿泉

當季何ろ共

二題は八句言

但二題

花三十六字

毎月九日夕よ世代五日我は猶也又ハ法也中よりて
幾人扱してもしハ一也也此は法也あう存下いてもより
しくい○予句宛を一差とて定未の差こそうの多況
才そ一差とハは○下以上方奥メ了矣く山方と巻
呈上巻中と相不付出扱山終くさる物呈上
多様と此法会毎月とハ保るく出つるとい
十月並而已矣位定 二下一頁 如来下 四頁
從西二年如此仕方とい 四頁五八頁外 十一頁半

毎月八日歌仙言流外風談會

序字二十四字 序上法条斗

高の仕合と生延る例等と也年九倍

元日開巻春興三句言 入花百字

天代人多番掛物一幅宛七中近々麻扇一物呈上
美々中ノ下以上出扱各呈上十二月廿五日以上出句
引上ハ年九倍付花此二欲流言料ハ又且書帳
の引上と此法会ハ助勢有引とい

家傳瘻解散

打人そとさ志やくを法了り
妙ろろ一付四十八洞 大袋百洞

瘻と積の二病いろくあるをさうり家てかそ一かそけ
二病いろくあるをさうり家てかそ一かそけ
あま二事手して百金も七弘いそ法扱えかんぞんを京扱
去國ホ大難堂七十年ホ其礼として去くれらる
日平橋西川為本戸
同庵寄戸執事川三びり地尾更金三電尾枝扇

